

日本都市計画学会九州支部第5回幹事会議事録案

文責 黒瀬

日時：2004年1月23日 16:30～18:10

出席者：両角、有馬、黒瀬、日高、菅、中村、堤

場所：九州大学工学部建築学科4階会議室

[配布資料]

資料：支部たより

資料：支部長賞資料

資料：シンポジウム案

[報告事項]

議題1：支部長報告（両角）

- ・ 先回の理事会に出席できなかったため、次回の幹事会で報告したい。
- ・ 九州支部関係の資料は理事会に提出した。

議題2：事務局報告（有馬）

<支部ニュースについて>

- ・ 支部ニュースNO.31は1月下旬発行予定であるが、まだ、原稿は準備中であり、2月にずれ込む可能性もある。極力、早く発行したい。
- ・ NO.32については3月下旬発行予定で、すでに吉武先生・梶原氏より荒原稿を送付して頂いているので予定通り発行できると考えている。

[審議事項]

議題1：旅費について（有馬）

- ・ 幹事会出席者の旅費については平成13年度までは実費支給であったが、予算不足から事務局側で平成14年度に高速バス料金に改訂した。しかし、宮崎からは航空機利用の方もおられて不足分は手出しとなっている。事務局としては総額150万円の予算から考えると実費支給は難しい。検討をお願いしたい。
- ・ 問題点の解決策としては、1.最初と最後の幹事会のみ実費支給とする。2.幹事会の回数を減らし、残りはメール会議とする。3.赤字覚悟で実費支給とする。の3つが考えられる。
- ・ 現実的には折衷案でやるしかないだろう。全員出席の幹事会の回数は減らしてメール会議や支部長、幹事長、事務局、担当幹事とかの小幹事会を取り入れる。また、シンポジウムと幹事会を同時開催にして、その場合には旅費は支給しないなどの方策を組み合わせるしかない。予算を少し増やすことも必要になるだろう。
- ・ 今年度については、年度途中ということもあり現行規定でお願いしたい。来年度以降に

については、先の議論を踏まえて案を作成し、幹事会におはかりすることになる。

議題2：来年度シンポジウム案について（黒瀬）

- ・ たたき台として資料 の案を作成した。検討をお願いしたい。
- ・ 研究会報告の後にパネルディスカッションを加えてはどうか。
- ・ 日時は1月のこの時期は卒業研究発表と重なる。2月18日（金）位がよい。
- ・ 懇親会は会費制でよい。
- ・ 参加者は官庁、NPO関係者、コンサル、学生、一般市民を考える。
- ・ 研究会報告のタイトルは少し総合テーマとすり合わせた方がよい。
- ・ 休憩時間等を利用したまちづくり事例のパネル展示やポスターセッションも考えてはどうか。パネルを公募してはどうか。
- ・ 次回までに案を整理して幹事会におはかりしたい。

議題3：支部たよりについて（有馬）

- ・ 2ヶ月に1度のペースで支部たよりを出すことになった。1月分については、有馬、辰巳、日高で話し合い、資料 の通り「九州支部のこれまでの歩み」とした。3月分については「九州支部の今年度の取り組み」とする予定である。
- ・ 来年度については、支部たよりの発行計画をきちんと立ててやりたい。研究会にも協力して頂いてやっていきたい。
- ・ 後援の内容とか会員が係わっているプロジェクトとかも入れてよいのではないか。
- ・ 支部ニュースと内容が重複してもよいのではないか。
- ・ 各幹事から支部たよりのニュースソースを連絡してもらったらどうか。
- ・ とにかく九州支部の動きを知ってもらう記事にすることが重要であろう。

議題4：支部長賞について（黒瀬）

- ・ 昨年度から始まった賞である（資料 参照）。今年度も継続したいがどうか。
- ・ 連名で応募した場合、表彰状は1人に1枚とするのか。
- ・ 極力、そうしたいがあまり多くなった場合には再考する。
- ・ あて先（九州芸術工科大学の校名変更）や印刷方法などを除き、昨年通り実施する。

議題5：その他

次回幹事会は3月15日か22日の週で調整しメールで連絡する。